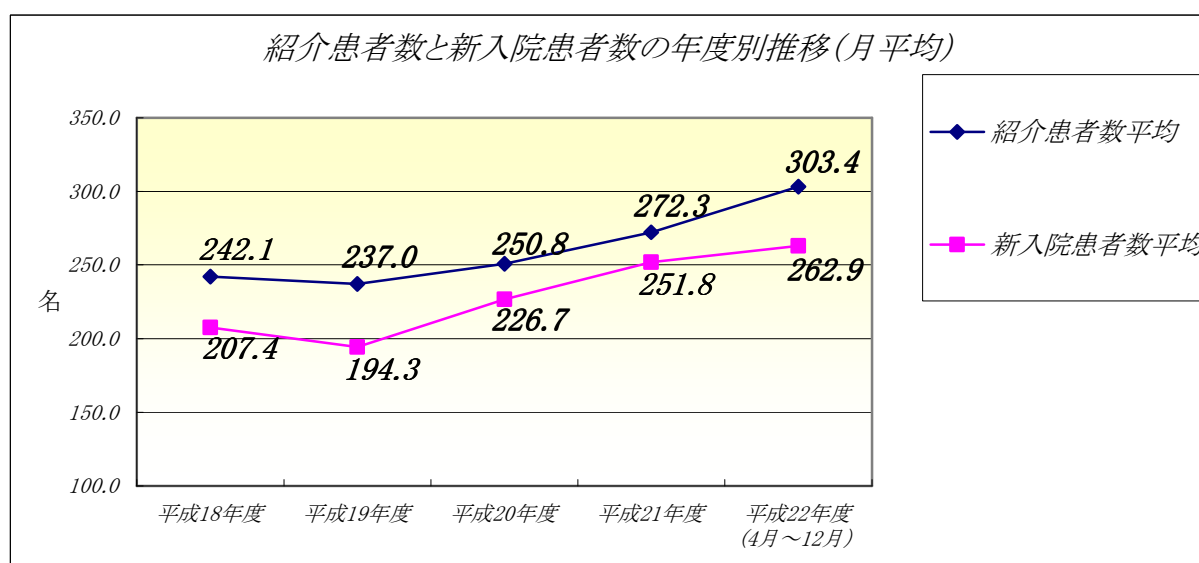
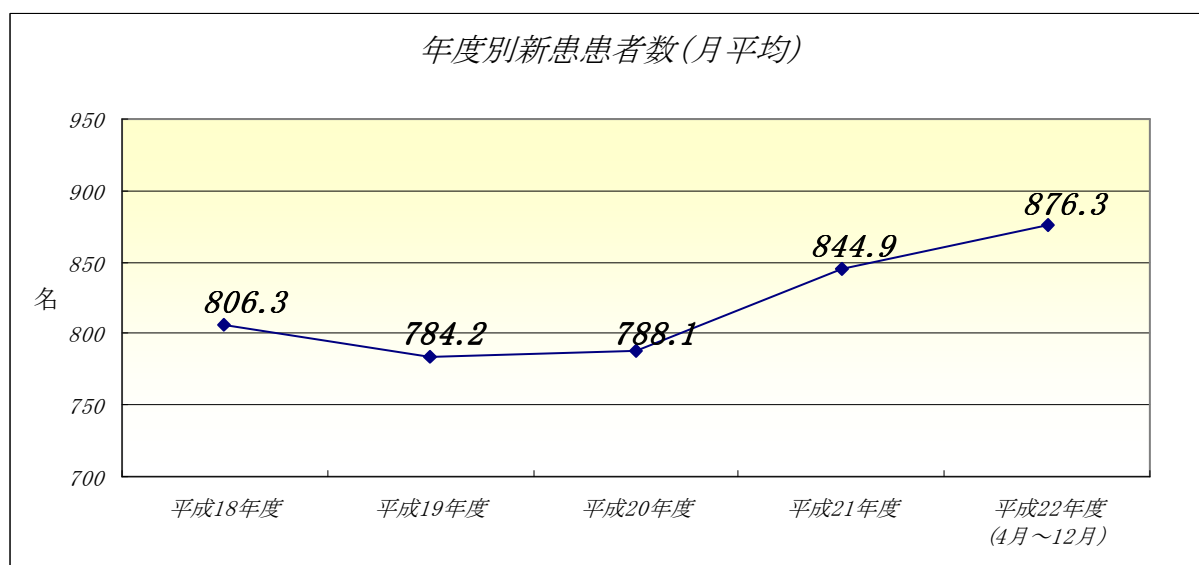


健康保険直方中央病院患者動向及び内視鏡各種件数報告に当たって

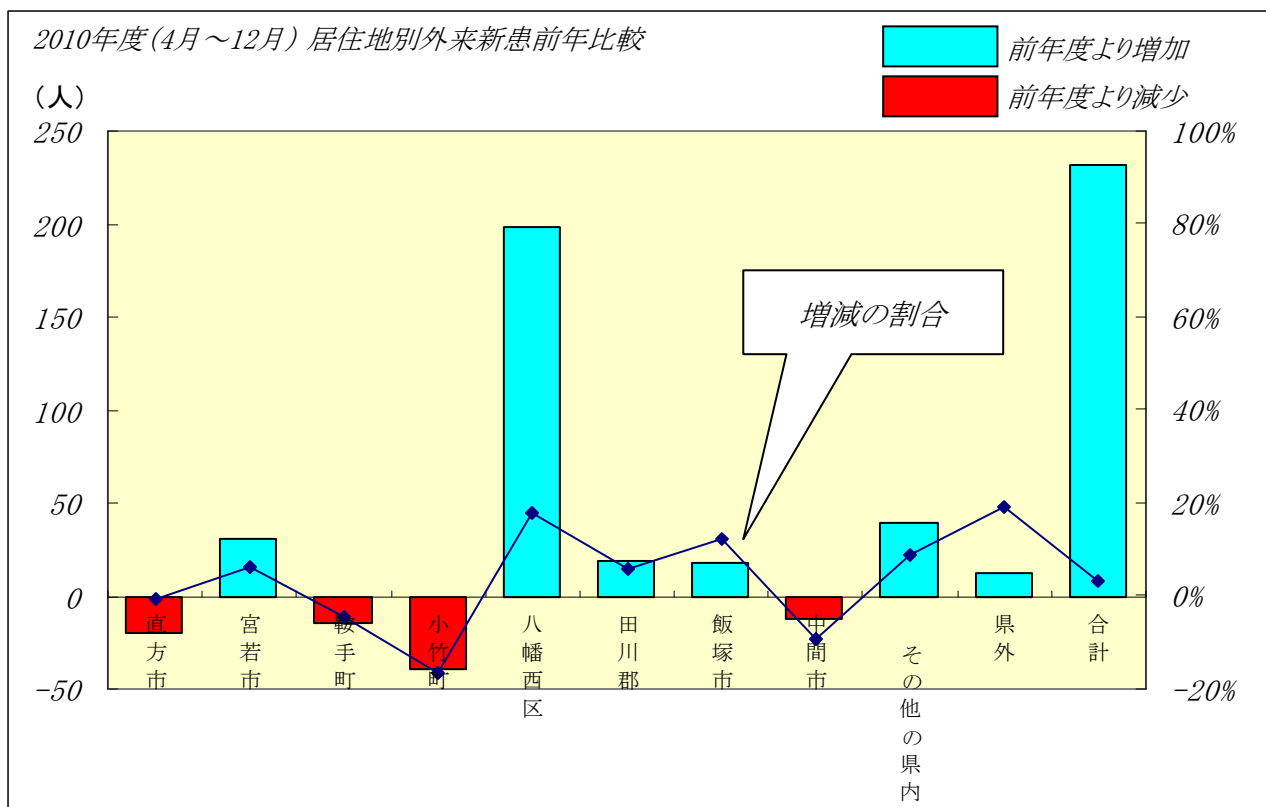
<はじめに>

日頃は、健康保険直方中央病院をご利用戴き、誠にありがとうございます。お陰をもちまして、平成22年度4月～12月の新患患者数および紹介患者数や新入院患者数も平成19年度から右肩上がりに増加し続けております。当院の消化器科で実施しております、胃・大腸内視鏡検査も年々検査数が増加し、癌の発見も増加しつつあります。今後も、患者様に安心と満足を与える病院作りにまい進して参りますので、宜しくご支援の程お願い致します。

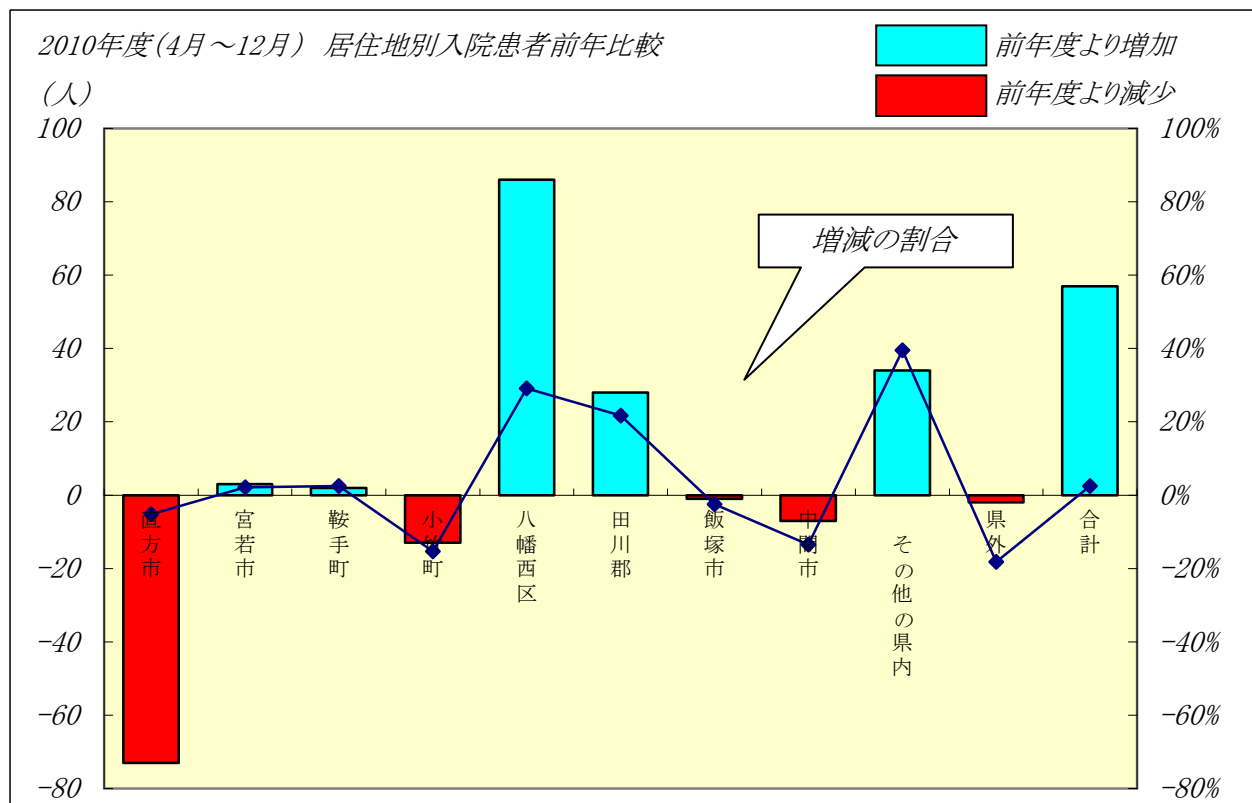
平成23年2月24日



2010年の4月～12月の外来新患者数を前年(2009年4月～12月)と比較しますと232名、率にしますと3.0%の増加しております。また、居住地別では特に八幡西区からの患者様が前年度に比べ198名増加したのをはじめ、宮若市・田川郡・飯塚市からの新患者が増えております。



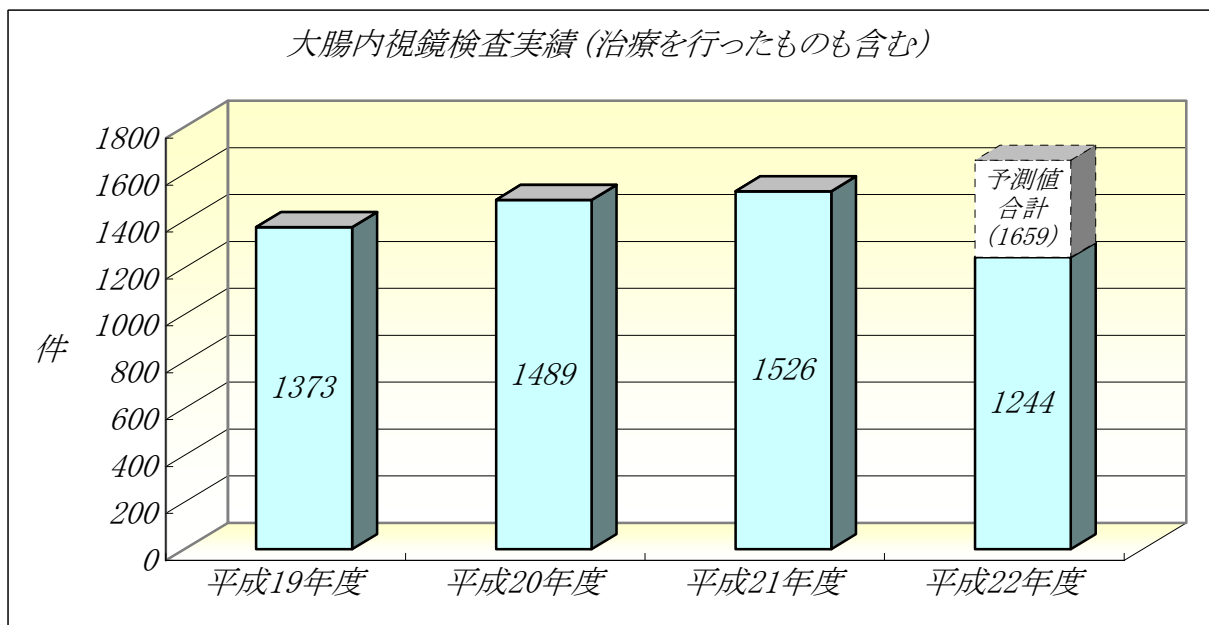
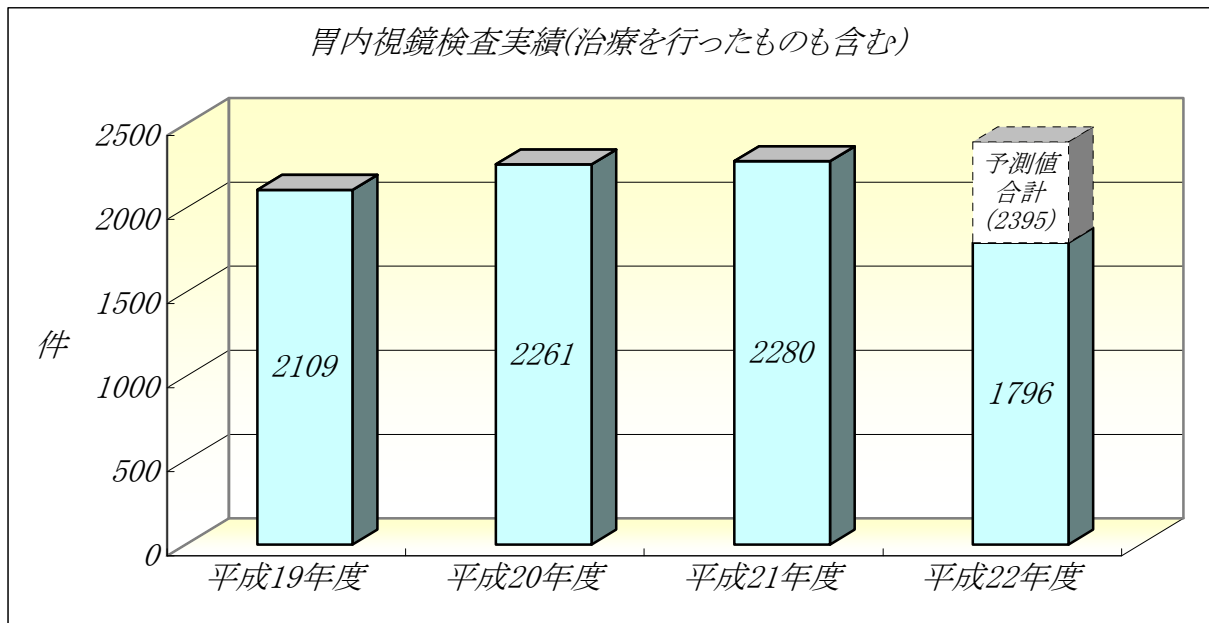
2009年度と2010年の4月～12月の入院患者数を前年度(2009年4月～12月)と比較しますと人数にして57名、率にしますと2.5%の増加となっております。居住地別では八幡西区や田川郡からの患者様が增加しております。



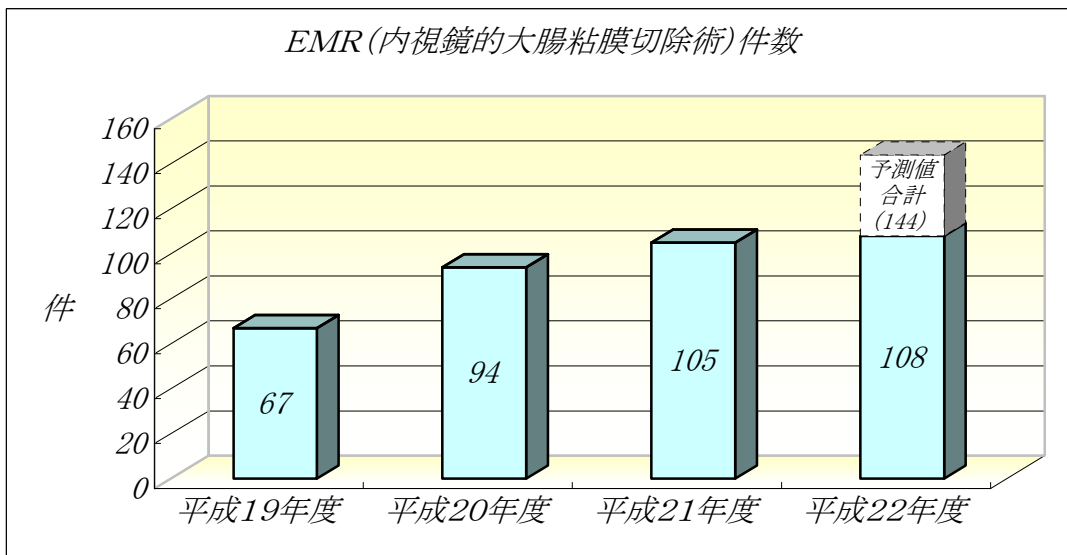
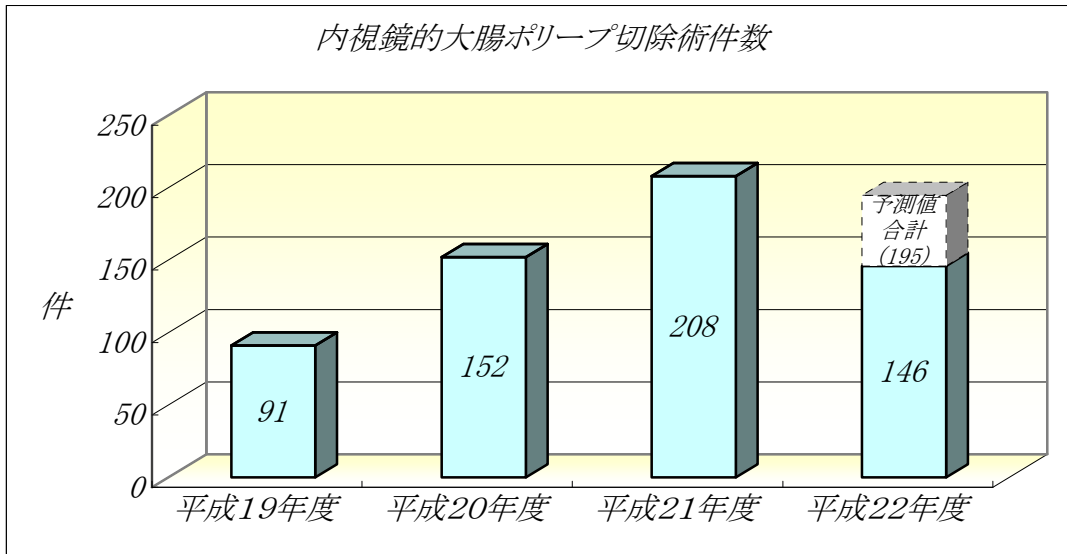
消化管の癌は早期に発見し治療を行えば、高い確率で完全に治癒する疾患です。また、近年では早期癌の一部は開腹せずとも内視鏡にて切除することが可能となっています。

当院消化器科では食道・胃・大腸の癌の早期発見・早期治療に主眼を置いて診療を行っています。検診で精密検査が必要とされた方、腹部の症状がある方はもちろん、無症状でも消化管の癌検診を希望される方には、すみやかに検査を施行しています。消化管の内視鏡検査は、バリウムによる透視検査より精度が高く、最近では検査器具の進歩に伴い比較的苦痛なく施行できるようになっています。したがって、当院では内視鏡検査を第一選択としています。万が一、胃癌や食道癌が発見された場合、ごく早期の癌であれば内視鏡による切除を行っています。

胃内視鏡検査（いわゆる胃カメラ）や大腸内視鏡検査（いわゆる大腸ファイバー）の件数も年々徐々に増加しております。



内視鏡的大腸粘膜切除術（EMR）とは、内視鏡を使用して大腸粘膜の癌病変などを切除する方法で年々件数が増加しております。内視鏡的大腸ポリープ切除術件数は他の病院でも行なわれるようになったため、若干減少しております。



最近では、従来の内視鏡的粘膜切除術（EMR）では切除不能な大きさの早期癌も、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）という新しい方法で切除しています。筑豊地区で ESD を行なっている病院は多くありません。

